

| めざす学校像・子ども像・教員像 | | 課題 | 今後の改善方策 |
|--|--|--|---|
| <p>○わかる授業づくりと体力の向上, 家庭・地域と一体となった共育を推進する学校</p> <p>○礼儀正しく, よく学び, 社会に役立つたくましい児童・生徒</p> <p>○小中連携校の強みをいかし, 基本的生活習慣の確立と心の教育に真摯に取り組む教員</p> | | <p>確かな学力の向上を目指した基礎基本の定着</p> <p>ことばと心を大切にした教育の実践</p> <p>特別支援教育の充実</p> | <p>・「住吉っ子の一と」SSノート」をもとにした指導の共通理解を図るための研修を行う。</p> <p>・学年ごとの課題を明確にし, 学力向上の取組を検討する。</p> <p>・小中連携して, 授業の中で考える時間を確保し, ノートに考えを残すよう指導する。</p> <p>・「住吉スタンダード」の定着を図るため, 児童生徒, 教師, 保護者へのアンケートをもとに, 取組を進める。</p> <p>・代表委員会と生徒会の連携を図り, いじめゼロの取組や思いやりのある言葉づかいの推進を図る。</p> <p>・校舎や施設を大切にすることを育て, 清掃指導の充実を図る。</p> <p>・今年度の研究の成果を引き継ぎ, すべての子どもが意欲的に学習に取り組む環境づくりを目指す。</p> <p>・小中ともに校内支援委員会の充実を図り, 全職員で特別支援教育に取り組む体制づくりを行う。</p> <p>・特別支援学級と通常学級との交流を活発にする。</p> |
| 重点目標 | 指標(取組指標・成果指標) | 達成状況についての説明 | |
| <p>確かな学力の向上を目指した基礎基本の定着を図る実践に取り組む。</p> | <p>・小中すべての授業で, 毎時間「めあて」と「まとめ」を明確にする。</p> <p>・生徒による授業アンケートを2学期中に実施し, 結果を分析して授業改善の手立てを検討する。</p> <p>・「住吉っ子ノート」「SSノート」を活用して, 自学に取り組む児童生徒の割合が80%を超える。</p> <p>・福岡市学習定着度調査の全教科および全学年において, 福岡市の平均を上回る。</p> | <p>・B事業への取組の中で, 「めあて」と「まとめ」を含めた1時間の流れを明確にする授業づくりを確認できた。</p> <p>・授業アンケートの結果から, 自分の意見や考えを発表しづらい生徒が少なくない等の課題が明確になったので, 授業改善の手立ての検討を行っている。</p> <p>・「住吉っ子ノート」「SSノート」については, 保護者への啓発も含めて目標を達成できた。</p> <p>・全教科および全学年において, 福岡市の平均を上回る目標は一部しか達成できなかったため, 結果を分析し次年度につなげたい。</p> | |
| <p>挨拶に重点を置いた基本的生活習慣の確立を図る。</p> | <p>・「住吉スタンダード」の教師による振り返りを学期に1回行い, 次の学期の重点目標を話し合う。</p> <p>・児童会, 生徒会の交流を活発にさせ, 合同の挨拶運動に取り組ませる。</p> <p>・「住吉スタンダード」の児童生徒による振り返りにおいて, 全ての項目で肯定的回答が半数を超える。</p> <p>・合同研修会で基本的生活習慣について協議し, 発達段階に応じた挨拶の指導を徹底する。</p> | <p>・教師による振り返りを小学校は毎月, 中学校は学期ごとに行った。小学校は, 生徒指導全体会で, 中学校は生徒指導委員会で重点目標について話し合うことができた。</p> <p>・児童会と生徒会それぞれの体制づくりに時間がかかり, 交流までには至らなかった。合同の挨拶運動については開校以来取り組んでいる。</p> <p>・「そうじ」「あいさつ」「言葉」については, 肯定的回答が80%以上で指導の成果が上がっているが, 「自学」については50%から60%にとどまっている。</p> <p>・挨拶の指導においては, 小学校では成果が上がっているが, 中学校では徹底できていない。</p> | |
| <p>特別支援教育の充実に努める。</p> | <p>・ユニバーサルデザインに基づく授業のあり方について全職員が理解を深め, 指導力を向上させる。</p> <p>・合同研修会において, よりよい教室環境と学習規律の共通理解を図り, 発達段階に応じた実践に取り組む。</p> <p>・校内支援委員会を学期ごとに開催し, 全職員で特別支援教育にあたる体制づくりを行う。</p> <p>・保護者アンケートにおいて, 学校の特別支援教育への取組に対する肯定的回答が70%を超える。</p> | <p>・教育センターと連携して, ユニバーサルデザインに基づく授業に関する研修を深めることができた。</p> <p>・環境整備については, 小中全ての学級において学習に集中できるよう教室内の掲示物に配慮することができた。学習規律については, 立腰教育を中心に据え実践に取り組んでいる。</p> <p>・小中ともに校内支援委員会を定期的に開催することができた。個々のケースの対応が中心であり, 全職員による特別支援教育の体制づくりは遅れている。</p> <p>・心の教育への取組について, 保護者アンケートでは肯定的回答が90%を越えており, 一定の評価が得られている。</p> | |
| 学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等) | | | |
| <p>・算数における基礎的な力を身につけさせるために, 補充学習や宿題を通して繰り返し練習させてほしい。</p> <p>・校舎が広いため, 子どもの手だけでは清掃が行き届かないところは, 学校用務員の先生に協力を仰いでほしい。</p> <p>・引き続き挨拶の指導を徹底してほしい。</p> | | | |